

学校法人医学アカデミー副学長

木暮 喜久子

初の6年制薬剤師国家試験を振り返る

初めての6年制薬学教育対応の国家試験である第97回薬剤師国家試験は3月3、4の両日、全国9試験地の会場で実施された。この春、『チーム医療の一員として、臨床的能力をもつ医療人である薬剤師の育成』を目指した6年制を卒業した薬剤師が8182人誕生した。3月30日に合格率が発表されたが、長期実務実習で実際の医療現場を経験したからこそ解ける問題も多く、6年制卒業受験者の合格率は95.33%と近年では最も高い合格率となった。しかし、既卒者（その他）の合格率は38.19%で近年では最も低いという結果であった。

現在、高度化する医療の担い手としての薬剤師に求められる業務は大きく変化し、医薬品の適正使用や薬害防止、適切な薬物療法の推進など、臨床能力と医療現場で必要な生きた知識や技能を身につけた薬剤師が求められている。そのため6年制薬学教育では、5年次あるいは6年次に病院と薬局などの医療現場でそれぞれ11週間（合計22週）におよぶ長期実務実習への参加が義務づけられている。さらに4年次には、学内での実務実習事前学習や長期実務実習に参加するために必要な知識・技能・態度が備わっているかを確認する共用試験が行われている。また、充実した臨床教育を実施している大学も多く、問題抽出・解決型の講義であるPBL（Problem-based learning）やTBL（Team Based Learning）の実施、バイタルサインが読める薬剤師能力の開発やフィジカルアセスメントのできる薬剤師を目指す臨床実習を実施してい

る。これらを背景に、新国家試験では、長期実務実習の成果を問う問題や実際の医療現場

6年制薬剤師国家試験の概略

旧薬剤師国家試験は、科目別に全て理論形式の240題の出題であったのに対し、6年制の国家試験は必須問題（90問）と一般問題（255問）の合計345題の出題になった。試験領域は「物理・化学・生物」「衛生」「薬理」「薬剤」「病態・薬物治療」「法規・制度・倫理」「実務」の7領域である。試験は、領域別に行うのではなく、薬学全領域を出題の対象として、「必須問題」と「一般問題」とに分け、



試験会場に向かう受験生(東京工科大学)

表 1 新薬剤師国家試験問題区分と合格基準

科目	問題区分 各 35%				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	15 問	45 問	30 問	15 問 (複合問題)	60 問
衛生	10 問	30 問	20 問	10 問 (複合問題)	40 問
薬理	15 問	25 問	15 問	10 問 (複合問題)	40 問
薬剤	15 問	25 問	15 問	10 問 (複合問題)	40 問
病態・薬物治療	15 問	25 問	15 問	10 問 (複合問題)	40 問
法規・制度・倫理	10 問	20 問	10 問	10 問 (複合問題)	30 問
実務	10 問	85 問	—	20 問 + 65 問 (複合問題)	95 問
出題数計	90 問	255 問	105 問	150 問	345 問

※実践問題は、「実務」20 問、及びそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題 130 問からなる

で通用する実践知識、薬剤師の取るべき姿勢等の問題が多く出題されていた。

さらに一般問題を「薬学理論問題」と「薬学実践問題」とした3区分で試験を実施した(表1参照)。それぞれの出題区分は下記のような問題内容で出題される。

(1) 必須問題は、全領域で出題され、医療の担い手である薬剤師として特に必要不可欠な基本的資質を確認する問題であり、共用試験と同様の五肢択一の比較的やさしい問題である。

(2) 薬学理論問題は、「実務」を除く全領域で出題され、6年間で学んだ薬学理論に基づいた問題である。旧国家試験の既出問題に近い出題形式である。

(3) 一般問題の薬学実践問題は、「実務」のみの問題と「実務」とそれ以外の領域とを関連させた問題形式の「複合問題」からなる。「複合問題」は、6年制薬剤師国家試験で初めて導入された出題形式で、症例や事例を挙げて実務の現場で薬剤師が直面する問題を解釈・解決するための資質を問う問題で、実践力・総合力・基礎力を確認する出題である。

新薬剤師国家試験は2日間で実施され、「必須問題」は1問1分、「一般問題」は1問2.5分で解く時間配分になっている。

また、表1には新国家試験の合格基準を挙げている。合格基準は、全問題への配点の65%以上を基本とする。しかし、「必須問題」

マツキョグループの調剤事業、さらに進化中。

急速な高齢化社会の進展を背景に増加する医療費を抑制するため、医療の一翼を担うドラッグストアの役割は、ますます重要視されています。このような社会環境の変化をとらえ、マツモトキヨシホールディングスでは、より高い専門性をもとに医療機関と連携した様々な医療分野への進出・調剤事業のさらなる拡大を目的とした調剤専門会社「マツモトキヨシファーマシーズ」を設立しました。私たちマツモトキヨシも、地域に密着した「かかりつけ薬局」として、マツモトキヨシファーマシーズとのシナジー創出を図り、今まで以上に調剤事業を強化していくことで、お客様・患者様により高いご満足を提供していきたいと考えています。

薬剤師
(新卒&中途)
募集中!

株式会社マツモトキヨシ
〒270-8521 千葉県松戸市新松戸 1-483
【応募者専用フリーダイヤル】0120-047-300
<http://www.r-matsukiyo.com/>

マツキョ

ver. Future

～つねに、一歩先へ～